

ラピッドテスト FLU II

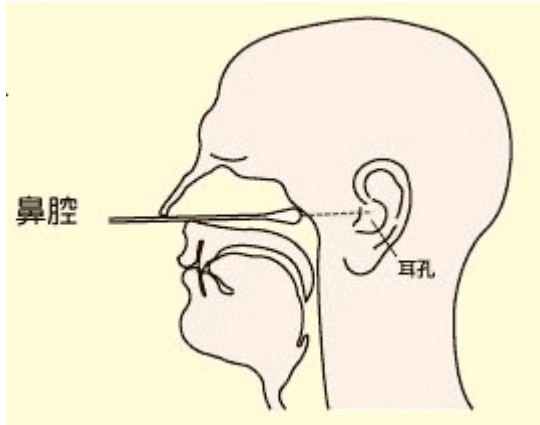
検体採取法のポイント

- 検体採取のポイント（鼻腔ぬぐい液）

- 鼻咽頭より採取する方法

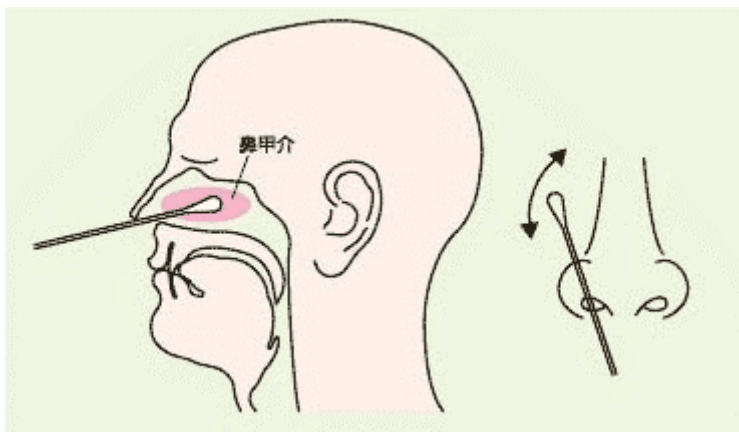
鼻腔ぬぐい液採取用綿棒を鼻腔から耳孔を結ぶ平面を想定し挿入します。

コットンと行き止まる鼻腔の奥まで綿棒が達したら、鼻腔粘膜を数回こすり取ります。



- 鼻甲介より採取する方法

鼻腔ぬぐい液採取用綿棒を鼻腔内にしっかりと挿入し、鼻甲介全体を数回こするようにして検体を採取します。その際のポイントとしては、鼻甲介の位置は鼻の中心線より外側の側面にあたるので、側面にこすりつけるようにして採取します。中心方向（鼻中隔）をこすると出血し易いのでご注意ください。



- 鼻腔が乾燥した患者様の場合

鼻腔が乾いている患者様の場合には、綿棒をあらかじめ滅菌済みの生理食塩水で湿らせてから検体採取を行うことをお勧めします。